

2007.8
第2号

京都の森を守り育てる運動に参加しませんか

以森伝心

特集

信仰と森



特集
信仰と森

森とつながる

西山の森づくり

見上げれば——京都の森ナビゲーション
枯れていく? どんぐりの森

自動販売機から呼びかける緑の募金

この人に聞きたい 森のこと、協会のこと
小澤 普照氏

活動報告

特集

信仰と森

子どもたちへ伝えていきたい 自然に感謝する心

京都府神社庁理事
貴船神社

高井 和大 宮司 に聞く

私たちの祖先は、自然とどのように向き合ってきたのでしょうか。例えば神社の周りには、鎮守の森と呼ばれ大切にされている森があったり、奈良県の大神神社のように、鳥居の真の山に神が宿るとして、山を築めているところもあります。太古から日本人が持ってきた心と森との関係を探り、これからの自然との付き合い方を考えるヒントを得るために、貴船神社の高井和大宮司にお話を伺いました。

自然と人間との関係

まず、信仰の始まりについてお伺いしました。「神をまつるために社殿が設けられたのは、仏教建築が日本に伝わってからとされています。それまで、私たちの祖先が祈りを捧げた先には、社殿も像もありませんでした」。

「はるか昔から、日本人は穀や木の実、魚を採取し、田畑を耕し、自然と共生して暮らしてきました。温暖な気候に恵まれた自然豊かな日本では、自然は人々にとって恵みを与えてくれるありがたい存在である反面、時には災害をもたらす恐ろしい存在でした」。

そして、自然界の一つ一つの働きに人の力の及ばない何か大きな力の働きを感じて『ありがたい』『恐れ多い』と崇めてきました。太陽、水、木、草や石ころなどの自然を構成する全てのものに神霊の働きを感じて、太陽の神、水の神、木の神、田の神として、感謝と祈りを捧げてきたのです」。

鎮守の森の役割

また信仰は、社会の秩序を保つ役割も果たしてきたそうです。「鎮守の森は、それを介して神と人が集いあう場でしたが、次第に人々はそこで、村のおきてなどの大切なことを決めるようになりました。つまり、神様の前で誓ったその約束を破

れば、バチがあたると信じたのです。こうして人々が共同体を形づくっていったことから『会社』『社会』という言葉が生まれました。また子どもたちにとって鎮守の森は、安全で楽しい遊び場であると同時に、お祭りなどの行事に大人に混じって参加する中で集団のマナーを学んでいく場でもあったのです」。



鎮守の森

「もったいない」が教えてくれること

様々な環境問題が生じている今、目指すべき社会像の一つに「循環型社会」が挙げられています。これは、神社では昔から大切にされてきた考えだそうです。

「伊勢神宮に『式年遷宮』という行事があります。20年毎に社殿を新しくし、神さまに旧殿から移ってもらうのです。社殿に使用していた木は、後に鳥居に利用して、最後にはお簀にします。木は切っ

たら植え、循環して大切に使う資源なのです。同じように神道では、おはらいをしたら気持ちはまた蘇り、濁った心は雨によって再び清められるという循環の考えがあります。人々は、何度でも再生し、栄養や水をもたらす山や森にも神が宿ると信じ、大切にしました」。

「環境問題は、一人ひとりの心の問題」とおっしゃる高井官司。確かに人の心や行動が積み重なって、環境問題は益々深刻化しています。「自然の恵みは、少しもおろそかにしてはいけない、もったいないものであり、大切にしないとバチがあたると言われてきました。そこには、常にバチをあてる側の存在を背中を感じていたことがあります。おてんとさまやお山が見ているから、神々が見ているから、悪いことはしてはいけない。この、常に見守られていると感じる心や、自然によって生かされていると考えるのが、日本人の持つ心なのです」。

では私たちはこれから、環境問題とどう向き合っていくたらよいのでしょうか。「どこの国の言葉にも翻訳できない『もったいない』という言葉は、日本人のDNAにすりこまれた、世界に誇るべき考えです。恐れと慎みの心で自然と接してきた、日本人の心を見つめ直すことが、何より重要なのではないのでしょうか」。



鎮守の杜フェスタの会場

子どもたちに伝えていくために

次に京都府神社庁の取組について、同庁中嶋茂博参事にお伺いしました。

自然に囲まれ、神々を頼りに生活していた時代に比べて、現代では自然との接点が減り、コンビニエンスストアでご飯が手に入り、蛇口をひねれば水が出てきます。そして、自然に感謝するという気持ちも失われつつあります。京都府神社庁では今、鎮守の森を環境問題について考え、自然に感謝する心を子どもたちに伝える場にしたいという思いから、様々な取組が進められています。

京都府神社庁は、NPO法人地球の杜委員会を設立し、年に一回「鎮守の杜フェスタ」を開催しています。10回目を迎えた今年の6月10日には、250人が参加し、貴船神社の奥宮、鞍馬山国有林の古事の森で、森林学習や自然観察、野遊び教室、講演などを行いました。野遊び教室では、竹とんぼや笛の工作など自然の材料を使った昔ながらの遊びを、ボランティアの協力を得て行いました。

その他にも、神社の掃除やお祭りへ参加する場や、潮干狩りや田植えなどの自然体験の場を提供しています。「鎮守の森を通じて、自然への畏敬と感謝の念を子どもたちに伝えたい。環境を守るために先人たちが取ってきた行動を再確認し、環境を考えるとときのヒントにして欲しい」と、中嶋さんは願います。



野遊び教室

いま、子どもたちの安全性を重視するあまり、キャンプや野外遊びの機会が減っているそうです。「涼しい森に包まれて作業したり、泥んこになったり、自然や生き物に触れて自然と関わり合い、自分でも自然をきれいにしていく、そんな体験をして欲しい」。京都府神社庁では、今の社会でこそ必要とされることを考え、取り組まれています。

イベントのお知らせ

伊勢神宮子ども参宮団

日時：平成19年8月21日（火）
内容：参拝、神楽奉納、清掃奉仕、潮干狩り
参加費：2,000円
申し込み：8月10日までに京都府神社庁まで

神社庁が行っているその他各種イベントに参加されたい方は、お近くの神社までお問い合わせください。

京都府神社庁
〒616-0022
京都市西京区嵐山朝月町68-8
TEL:075-863-6677
FAX:075-863-6664
HP:<http://www.kyoto-jinjacho.or.jp/>



森とつながる

皆がつながって、美しい森に 西山の森づくり

身近な森について話し合う輪

地域の住民や企業、森林所有者が、近くの山をどんな森にしたいか、皆で話し合っている取組があると聞き、長岡京市の西山森林整備推進協議会（以下、協議会）を訪問しました。

長岡京市といえば、タケノコの名産地です。西山の森は、その21%を竹林、16%をスギ、ヒノキの人工林、63%をシイやカシ、コナラ、クヌギなどの雑木林などが占めています。住宅地と森とがとても近く、森にはキャンプ場があり、散歩を毎日の日課にする人もいますなど、地域の人々にとって、とても身近な存在なのです。



手が入る前の森



手が入った後の森

美しい里山に向けて

長岡京市環境政策推進課の中村修さんに、取組を始めたきっかけを伺いました。「長岡京市では、放置された森林が増えていました。荒れていく西山に危機感を覚え、2年前に市と京都府京都林務事務所が中心となって協議会を発足しました」。

薪や炭などの燃料への需要が減り、国内の林業が低迷し、森林所有者が高齢化していく中で、森を健全に管理することが難しくなっていたのです。

協議会には、森林所有者、ボランティア団体、森林組合、企業、大学、行政などが参加し、積極的に話し合い、協力しながら森づくりを進めています。美しい里山を復活させるために何かをしたい、という思いは皆一緒だったのです。

それぞれが得意なことを役割分担

協議会は、森林整備の構想・計画を立て、西山の森づくりの推進母体となっています。そして、それぞれ

の組織が協議会を核にしながら、得意なことを役割分担して、森づくりを進めていきます。例えば、行政は事務局の役割を担う他、森林所有者に協力を求めます。森林所有者は、行政なら、と安心して山を任せます。また企業は、実施費用や資源の利活用への支援を行い、森林組合は、現地作業をするだけでなく、ボランティアへの技術指導などを行います。



西山森林整備推進協議会の構成図

また、活動を広めるには、それを担うボランティアを育成することも重要です。協議会では、ボランティアの養成講座も行っています。「集まってくれた人たちに継続して参加してもらうには、養成講座の参加者にボランティア団体を紹介し、人と人をつなげていくことです」。



ボランティア養成講座に集まったメンバー

西山森林整備推進協議会

- 京都大学
- サントリー（株）
- 長岡京市森林組合
- 興海印寺財産区
- 長法寺財産区
- 柳谷観音楊谷寺
- 総本山光明寺
- 里山再生市民フォーラム
- ゲンジボタルを育てる会
- 京都府
- 長岡京市

ワーキングメンバー

- 高野竹工株式会社
- 松栄堂長岡京工場
- 桂川流域ネットワーク
- 乙訓の自然を守る会
- NPO法人 乙訓バオ
- 環境の部づくり会議
- 長岡京市竹林友の会
- 日本野鳥の会京都支部
- (財)長岡京市緑の協会
- 乙訓保健所

さらに、森のために何かを始めたいと思っていた企業は、協議会を通じて、他の団体と連携することができました。「企業だけで森づくりを始めるのはなかなか難しいそうですが、協議会に参画することで、普段知り合うことができない様な人たちと連携してもらうこともできます」と話す中村さん。地下水を利用しているサントリー（株）は、水源かん養を中心とした森づくりに取り組まれています。協議会が出来たことにより、地域や行政との協働で森づくりに参画されるようになりました。



タケノコ掘り体験



樹木観察の様子

中村さんのお話から、様々な人たちが協議会を介してつながり、森づくりを進めている様子が伝わってきます。森づくりに関わる人も増え、森林所有者だけでは整備が進んでいなかった森に手が入り、市民が憩え、環境学習にも役立つ、美しい西山の森がつくられつつあります。

長岡京市竹林友の会



竹林友の会の
愉快的仲間たち

私たちは、毎週土曜日に集まり、放置竹林を元のタケノコ畑にもし、タケノコ栽培技術を伝承する活動をしています。きちんと肥料や土入れをしないと、美味しいタケノコはできません。竹林コンサートや、タケノコ掘り体験も企画しています。協議会と協力しながら、「竹の学校」のNPO法人化も進めているところです！

地域に応じた森づくりを

協議会では、木や植物を調査したり、地域のお年寄りに昔の森づくりの方法を教わりながら、どんな木を残していけばよいのか話し合っています。まだまだ考えていくべきことは、山積みです。

人が関われば、その分森は姿を変えます。森林の役割は時代とともに変化し、どれがよいのか、正解は一つではありません。地域のニーズに合わせて、皆で話し合っ決めていかなければいけません。西山の森は、地域の人々が願う美しい森へと姿を変えつつある、まさにモデルフォレスト運動の「モデル」とも言える森なのです。

●協議会の今後のスケジュール●

- 10月20日（土）長岡京市竹林コンサート
- 11月 3日（土）森林ボランティア体験行事
- 11月11日（日）長岡京ガラシャ祭へ出展
- 11月17日（土）森林ボランティア養成講座
- 11月24日（土）森林ボランティア養成講座

詳しくは、西山森林整備推進協議会事務局（長岡京市環境政策推進課）までお問い合わせください。

TEL : 075-951-2121
FAX : 075-951-5410
E-mail : kankouseisaku@city.nagaokakyo.kyoto.jp

枯れていく？ どんぐりの森

どんぐりの木が枯れる？

どんぐりの木でお馴染みのシイやナラの木が枯れる現象が、日本各地で広がっています。京都府でも1991年に久美浜町で被害が発生してから、今では京都市まで南下してきています。いったいその原因は何でしょう。ナラ枯れに詳しい京都府立大学の小林正秀特別講師にお話を伺いました。

「ナラ枯れは『カシノナガキクイムシ（以下カシナガ）』という体長5ミリほどの小さな虫が、幼虫を育てるために木に穴をあけ、病原菌を持ち込むことが原因とされています」。現在、その対策のために様々な試みがされているようですが、その一つがペットボトルを利用したトラップです。この方法は、昨年度京都府林業試験場に所属していた小林さんと、林野庁京都大阪森林管理事務所によって開発されました。「カシナガのオスが木に空けた穴の下にペットボトルを仕掛けておくと、オスの出すフェロモンに呼ばれたカシナガがペットボトルに落ちて大量捕獲できます。カシナガは着地がうまくないんです」。ペットボトルはコカ・コーラウエストホールディングス（株）から1,800本提供されました。



飛行中の虫を大量に捕らえるための、新たな仕掛けをする小林さん

病気の一端は私たち？

「嫌われている虫たちも、観察するとかわいく見えてくる」という小林さん。カシナガの幼虫には、親が産んだ卵を餌の豊富な場所へ移動させたり、栄養を仲間で分けあうという習性もあるそうです。「ナラ枯れを胃ガンに例えるなら、主因であるガンはカシナガが運ぶ病原菌ですが、誘因であるタバコやストレスは、電気やガスが普及して人が薪や炭を得るために木を切らなくなったことや、地球温暖化にあります」。カシナガは、細い木には卵を産み付けず、人に切られずに太く成長した木に住みつき、爆発的に増加します。つまりナラ枯れには、人間の暮らしの変化が影響しているようなのです。

では、この病気を防ぐにはどうしたらよいのでしょうか？「カシナガに格好の住みかを与えないためにも、以前のように木を切っては使わず、規則正しい森の利用が必要です」。



カシノナガキクイムシ



ペットボトルによるトラップ

自動販売機から呼びかける緑の募金

緑の募金寄附型の自動販売機に、ダイドードリンコ（株）と近畿ペプシコーラ販売（株）が取り組まれています。これは、自動販売機の売上げの一部を、設置者との協働で緑の募金に寄附するというものです。現在、府内には約40台の自動販売機が設置されています。

この6月から社員食堂に緑の募金寄附型の自動販売機を設置された大和ハウス工業（株）の松山さんは、「緑の募金寄附型に変えてからは、数がよく出るようになった。緑の募金効果が現れているのかも」と話してくださいました。



募金寄付型の自動販売機



4月の新緑祭において、ダイドードリンコ（株）に柏原理事長から感謝状が贈られました。

この人に聞きたい
森のこと、協会のこと

京都モデルフォレスト運動の展開に期待

(社) 京都モデルフォレスト協会顧問
元林野庁長官、京都府参与

小澤 普照 氏



過日開催の京都モデルフォレスト協会の総会に、私も東京から駆けつけました。

総会で、活発な意見交換が行われず、「異議なし」、「異議なし」で終わりになるという、わが国でよく見られる、セレモニー的な総会になってしまうと、京都モデルフォレスト運動の発展には繋がらないので、どうか元気で総会であって欲しいと思いながら出席しました。

さて当日、柏原理事長さん（京都銀行頭取）から、「今までは職業柄、毎日札束を数えることに精を出していたが、現在はモデルフォレスト運動で森づくりなどの素晴らしい活動に関わることができて、これほど幸いなことはない」という主旨のユーモア溢れるスピーチがあり、参加の皆様から、とても素晴らしいお話だったとの感想が聞かれました。

このことは、「京都モデルフォレスト運動」の成功を予感させるものでありました。

総会が終わった後、野生獣関係の団体（日本熊森協会）の人たちが私のところに来られました。熊と人の共生のためにもモデルフォレスト運動は力を入れて

欲しいとのことでありました。正にモデルフォレスト運動というのは、単なる「森づくり」の団体ではなく、「人と自然との共生」を実現するため、森林の持続を中心に地域が一体となって協働活動を行うものであること、また外国には熊の専門家も多く、モデルフォレスト運動の国際ネットワークを通じた国際交流も可能ですと話しましたところ、大変喜んでおられました。

さらにその後、森林インストラクターのグルー（京都森林インストラクター会）の方々と、定年退職後のサンデー林業や炭焼き活動に対するサポートなどについての意見交換をして東京に戻りました。

モデルフォレスト運動は、地域が直面している森林・環境問題などについて、企業・NPO・大学などが連携して、問題の解決に役立つ実践活動を積極的に行うことに意義があるものと思っています。

また行政には、地域の活動をサポートしながら、成功事例を新たな行政施策に取り入れて下さることが望まれます。京都モデルフォレスト関係者のご活躍を願って止みません。



総会の様子

平成19年度通常総会を開催

去る5月31日に京都市内で会員 177 名の出席のもと通常総会を行いました。

当日は、只木氏が議長に選任され、京都モデルフォレスト運動の推進に向け活発な意見交換がされました。

議案はすべて承認されました。
(平成19年度事業計画等は、協会ホームページから閲覧できます)



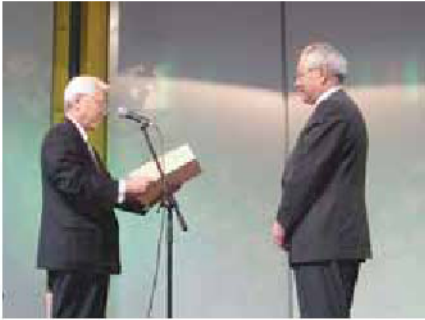


活動報告



新緑祭in 新風館

4月27日に新風館で、森をテーマとした狂言やコンサートと、街頭募金や協会シンボルマーク最優秀賞の表彰、寄附金の贈呈式を行いました。寄附金は、京都ヨク自動車(株)からハイブリッドカープリウス等の売上げに応じて積立てた575万円の他、松下電器グループ等からいただきました。



森林ボランティア団体等円卓会議

7月8日に森林ボランティア団体等の会員36名が活動上の課題などについて意見を交わし交流を深めました。指導者不足、メンバーの高齢化などの切実な課題や、情報の発信・共有が大事という意見が出ました。参加者はそれぞれにヒントを得たり新たな繋がりができるとして、次回開催を望む声がありました。



森林体験活動in鞍馬・貴船

7月21日、京の奥座敷、鞍馬・貴船で会員を対象とした森林体験活動を行いました。会員53人が参加し、6班に分かれて鞍馬寺から貴船神社まで約4キロの道を、京都森林インストラクター会のガイドにより歩きました。



森林づくり活動に係る協定の締結が進む

7月に3件の森林づくり活動に係る協定が締結されました。今後、協定に基づき、企業と地元の方たちとの協働により、間伐や下草刈りなどの森づくり活動が行われます。



| 取り組み企業 | 森林の所在地 |
|--------------------------------|--------|
| (株)村田製作所 | 亀岡市 |
| エスベック(株) パナソニックフォトライティング(株) | 福知山市 |
| コカ・コーラウエストホールディングス(株) | 宇治田原町 |

平成19年度春期緑の募金
募金額 14,350,716円



皆様のご協力誠にありがとうございました。京都の森づくりのために活用させていただきます。

挑戦! はっぱクイズ

木の名前には、はっぱのおもしろい特徴に由来するものがあります。左側の木の名前と、右側のはっぱの絵・説明文をつないでみましょう!

- 問1 ユズリハ (薬業) ● ● ア 大きな葉が長く切れ込んだ形は、まるで手のひらのようです。実際には8~10の奇数に分かれることが多く、天狗の持っている薬団扇もこの葉です。
- 問2 ハナイカダ (花筏) ● ● イ 枝先に若葉が出ると、古い葉がそれに順るようになり落ちていきます。朝から夕へ引籠を滑ませているような様子が見られ、正月飾りにも使われます。
- 問3 ヤツデ (八手) ● ● ウ 枝先に葉が葉中し、上から見ると葉が車輪状に見え、海に似た白色の花が咲きます。奄美大島では、大島菊の紋色に使われます。
- 問4 シャリンバイ (車輪梅) ● ● エ 葉の真ん中に、ちよこんと淡緑色のかわいらしい花を咲かせつける梅子が、まるで梅(いかだ)の上に人が乗っているようです。

★正解者には、抽選で10名様に、緑の募金キャラクター「どんぐり君グッズ」をプレゼント!
住所・氏名と答えを記入して、E-mailやFAX、郵送で下記の宛先までご応募ください。締切:8月末日

新号の答え

多数の回答を頂きました。当選者には、賞品をもってかえさせていただきます。

ア イ ウ エ オ
ヤ フ ツ バ キ

タカノツメ
キタヤマ
ラブ
ヨナ
オウバイ

ニモデルフォレスト体験ルポ

7月22日、京都府京都林務事務所と大山崎町の共催で、天王山森林整備推進協議会等が後援する「天王山森の学校」に参加しました。朝9時半に親子連れなど約40人が集い、午前は森の観察や竹林の間伐体験を行いました。午後は、龍の宝積寺で竹林の歴史について話を聞き、竹の水鉄砲作りをし、3時に解散しました。



竹林拡大防止への理解が深まる他、子どものいつもの見られないような頑張りやしゃきょうも見られ親子の親睦も図れた一日でした。

発行:社団法人 京都モデルフォレスト協会

〒602-8570 京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町 京都府農林水産部 林務課内

Tel & Fax:075-414-1270 URL: <http://www.kyoto-modelforest.jp> E-mail: kyomori@kyoto-modelforest.jp

企画・編集:株式会社Hibana 平成19年8月発行